

永原 恵三 / NAGAHARA, Keizo

文化科学系 / 文教育学部芸術・表現行動学科

<http://researchers.ao.ocha.ac.jp/7560134047.html>

■ 研究者情報

連絡先

Email: nagahara.keizo@ocha.ac.jp / TEL: 03-5978-5279 (音楽助手室)

専門分野

音楽学

■ 研究成果情報

芸術表現: 人間の声と教会音楽の合唱

キーワード

合唱、教会音楽、声、発声、身体

研究内容

■ 概要

音楽を人間の豊かな営みと考えることを研究の基盤においています。そして、音楽を必ず実践の上で考えるようにしています。

合唱文化が日本全国に広がり、各地で美しいハーモニーが奏でられています。また、学生時代に合唱を経験して、退職後にシニアの合唱を楽しむ方々も多いことでしょう。数十年の間に音楽の研究は発展し、教会音楽の演奏や発声法の考え方も新しくなってきました。

1) 教会音楽を中心に合唱を実践的に研究しています。

西洋音楽で古くて新しいのがキリスト教の音楽です。グレゴリオ聖歌から現代の聖歌に至る教会音楽を考えながら、実際に演奏することで、西洋文化の豊かな営みに接します。

2) 合唱の声を中心にして、人間の身体と声との関係を考えています。

合唱を身体から捉えることで、人間の声の可能性や、身体と声の関係を考えます。

特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

CD「谷川の水を求めて 詩編と賛歌で綴る七つの秘跡」(アンサンブル・ブラーナ)テノールおよび詩編ソロ、サン・パウロ、2002年

CD「よるこび歌え アレルヤー復活徹夜祭の典礼ー」(アンサンブル・アルボス)主催およびテノール、詩編ソロ、サンパウロ、2006年

解説、CD「琵琶 半田淳子の世界」、コロムビアミュージック、2010年

野田市公開講座「話し方講座、声と言葉のあれこれ」、第3回「すてきな声で話そうく発声のしくみと歌声」、2007年

神戸市独協会 ドイツ文化特別講座「ベートーヴェンフェスティバル」第3回(ベートーヴェンの宗教曲)、第4回(第9交響曲の魅力)、2008年

ワークショップ、「アンサンブル・アルボス聖歌ワークショップ」第1回2008年、第2回2009年、第3回2010年、第4回2011年、第5回2012年予定

合唱指揮、コール淡水・東京、1998年創設以来指揮者、2009年「第5回定期演奏会」で次郎丸智希作曲『とある朝・・・』初演、他

単行本:『合唱の思考ー柴田南雄論の試み』2012年4月、春秋社より刊行予定

東洋音楽学会理事、選挙規定により、1994年～1998年、2000年～2004年、2006年～2010年。

民族芸術学会理事、2008年より現在に至る。

産学官・社会連携の可能性

■ 知見の教授・共有 (公開講座、ワークショップ等の実施/出版/その他)

公開講座、ワークショップ、講演など(1):ルネサンス以来の合唱音楽の思考についての実践的で民族音楽学的な視点での講座。

(2):現代の日本における合唱の発声法や、話す声のあり方などについての実践的講座。

セミナー:西洋音楽史の根幹を流れるカトリック教会の音楽を新しい音楽学の視点で解説。たとえば、ミサ曲の過去と現在など。

その他、発声や声と身体の関係、合唱あるいは音楽それ自体に内在する思考、キリスト教(とくにカトリック)音楽に関する講演、記事執筆が可能。

芸術
表現行動

合唱

芸術
表現
行動